藤間秋男の

100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ　“心新たに仕事に取り組もう!”

心新たに仕事に取り組むことで次のようなメリットがあります。
①やるべきことが明確になります　②仕事の仕方を見直せます
③モチベーションが上がります　④効率がよくなります
⑤お客様に喜ばれる仕事ができます

株式会社コスモ教育出版『理念と経営』カレンダーより

(1)「後継者を一緒にお探しします。説得します。」
皆様の会社は、社員がいて、お客様がいて、仕入先があって、地元にも社会にも貢献しているから存在しているのである。私は企業の目的は、すべて永続企業を創ることだと思っています。
そのために後継者は、絶対に必要である。なぜなら、社長はいつか死んでしまうからである。
また、社長も後継者がでてこないと、80歳になっても90歳になっても、社長を引退できないし、M&Aか清算しなければなりません。会社に魅力がなければ、M&Aもできませんし、借入金があったら清算しても返済があるので自宅売却や個人破産になってしまう。後継者がいないと、社長、社員、お客様、仕入先、地元、すべて不幸になります。
最近、後継者の相談が多いです。最近の相談アドバイス事例
①社長70歳代、子供30歳、金融機関勤務。50歳になったら戻るか考える。→社長を77歳までやる気か!説得して下さい。
②社長80歳代、子供40代、一度後継者としたが、独断行動が多く、退職させた。自分も80歳代になったので戻ってきてもらうような説得してくれ。ダメであればMBO(社員持株会)考えたい。
(80歳代で、本当にまだあわてなくてもしれない)
③(最悪のケース)社長70歳代、子供も社員も継がない。借入金2億円、債務超過、損益赤字。M&Aもできない。いずれ会社清算して、借入金の支払いできずに破産。
④社長65歳で、親族外の社長(45歳)に譲り、会長になり、自分のやりたい仕事のみやっている。後継者もがんばり、業績をあげ続けています。(65歳でまだ社長できるけどスパッとバトンタッチ)
①～④の中で、どれが、一番幸せですか?
④は実は、TOMAグループの事例です。
カレーハウスCOCO壱番屋創業者 宗次徳二への質問
「経営者として、いちばんの幸せはなんでしたか?」
「安心して経営を任せられる、いい後継者に恵まれたことです。」
藤間秋男は55歳の時に65歳で社長を譲ると宣言し準備し3年前に「守原」というすばらしい後継者に恵まれ、昨年10月に社長・理事長をバトンタッチして会長になりました。本当に死にものぐるいで35年間社長やってきて今会長になって自分のやりたい仕事だけやれて本当に幸せです。
そんな後継者を一緒に探しませんか。藤間秋男がご相談にのります。(手ごたえを回答しました。)
お気軽にご連絡お待ちしております。
(後継者のいる方は幸せですよ。感謝してもしきれません。)

(2)人が辞める職場が犯す7つの大罪
(人手不足が言われていますが定着がよければさらに社風が良くなれば業績もよくなりますよね。)

①「ニーズが満たされていない。」前職の退職理由がカバーされているか。また、働くことによって「自分が成長できていること」を実感しているか。
②「人間関係が良くない」同僚の陰口、上司がパワハラまがいを言う。職場にいる人たちが互いによく知らないまま仕事(TOMAでは各種プロフィールを紹介しています。)
③「会話がない」仕事外の雑談が適度に出ている。
④「相談できない」定着のよいところは月に1～2回経営者、上司が1対1で行う「個別ミーティング」。何でも話せる環境をつくる。
⑤「教育が足りない」十分な教育ができていない新人を現場に丸投げしてしまう。
⑥「関心がない」ちょっとしたことでも良いので積極的に話しかける。普段の仕事ぶりを見てフィードバックしてあなたのことを気にかけていますと態度であらわす。
⑦「将来が見えない」上司がとても幸せそうにしていない。と不安になります。上司が生き生きしている方が安心になります。
(私は夢ある理念ビジョンを確立と浸透させ、上司と部下がコミュニケーションをとり自己実現できる教育をしていくことが最適。

岡本文宏「できる人材がすぐに辞めない職場のつくり方」商業界

(3) 金メダリストの金言を学ぶ（「巨人龍エンジョイクラブ」会報誌メルマガ）

冬季オリンピックの数々の名勝負と名言の数々は、感動と活力をくれました。（感動経営のヒント）

① このオリンピックで得たものは何ですか？

羽生選手「幸せを掴んだ。この日のために、たくさんの幸せを手放してきたから……」

② 小平選手「五輪を迎えたとき、試してよかったということがないようにしたい。そう思い続けた4年間でした。その報われた日です。」

①、②の共通は、「後悔ゼロ、言い訳ゼロ」でゴールインしたいという想いである。金言とは、覚悟の日々を重ねたから生まれる。

(4)「魅力ある人たち」（プレッシェ（ダスキンの社内報） ダスキン 2018年3月号 松岡浩）

多くの人から「また会いたい」、明るく楽しい雰囲気が漂っていますので、周りの人たちをよい方向へ感化させ、自らも成長しています。

① 「サービス精神旺盛」－サービスして、相手を喜ばせ自分も喜ぶ。

② 「陽性人間」－陽気、上機嫌、笑顔と大きな声で「ありがとう」常に「明るく楽しい」を心掛ける。

③ 「優しい人」困っている人を助け、優しく元気づける。

④ 「芯の強い人」－ぶれない。その人についていこうと思わせる。

⑤ 「手抜きをしない」一所懸命。

⑥ 「苦境（ピンチ）にも動ぜず」楽天的な心を切り替える。

⑦ 「即行動」－すぐ実行。

⑧ 「事前準備を充分にする」

⑨ 「ハガキの活用」62円（はがき）で元気づける。

⑩ 「信用」約束は必ず守る。約束10分前に待つ。

⑪ 「温顔無敵」優しくおだやかで温かい顔を心がける。

(5)『大が口ずさむ引き寄せの法則』（斎藤一人 柴村恵美子 PHP研究所）

① 人間になるための条件

ⓐ いつも上機嫌 ⓑ 中機嫌 ⓒ いつも不機嫌

（上機嫌でいるコツ）⇓

ⓓ 大きな声で「ありがとうございます」ⓔ 大好きな言葉（ついてる うれしい 楽しい）

⑪ 他人の趣味を聞く。㊂ 相手をほめる。㊃ とにかくいつも「楽しいこと」を考えて行動すること。⇒結果 人が集まってきます。

（藤間は、毎日ワクワク楽しいことを考えています。）

(6) 即断即決が成功への不可欠。優柔不断では成功はおぼつかない（『夢をかなえる習慣』アンソニー・バークランド（アンスガウラー・トゥエンティワン））

たとえばレストランで注文するとき、メニュー見て即断即決できてますか？重要な事柄はどんどん増えていきますから、かたっぱしから処理していかなければなりません。それができないなら仕事の山を抱えバタバタすることになります。「時間が足りない」といつも嘆いている人は、「決定先のばし症候群」にかかっている可能性があります。

日ごろ簡単な事柄を即断即決する習慣を身につけ、重要な事柄でも即断即決できるような直観力と判断力を養いましょう。

（藤間は、即断即決できたから失敗もありましたが、70%の今があると思います。）

(7)『理念と経営』の勉強会、700回超えました。（2018年1月時点 コスモ教育出版）

① 「仕事」には"喜怒哀楽"もあり、あらゆる人間の生き方が詰まっている。

② 人は「仕事」で磨かれ、読書で磨かれ、「人」で磨かれる。これで心を鍛えられる。

③ 仕事は、国のため、社会のため、人々のためにやりなさい。必ず長期的な利益がついてくる。（㊂ 丹羽宇一郎 前中国大使 山折哲雄 宗教学者）

④ 伝統50対革新50で革新を起こす。

⑤ リーダーの管理能力は鉢植えを見ればわかる。

⑥ 本当に困っている人の答えは現場にある。

⑦ 取引先を親類にせよ。㋐㋑ 鈴野第一会長

⑧ 逆境の中にこそ夢がある。⑥～⑦ 塚陽藤田元社長、山下常務

⑨ 安易な仕事をする幹部には声を荒げてロビった（松下幸之助）。

⑩ 現場も経営感覚を磨く努力をしなければならない。

⑧～⑩ 田舞徳太郎

『平成のなにわ商人鑑（あきんどかがみ）』（伴ピーアール株式会社）より

「商人は　一人何役も　せなあきまへん
家の中でも　人にも　街にも　役立つ人間になりなはれ」

「儲けるという字は　諸人を喜ばしたり　自分を信じてもらう事です
街商人は　信者（ファン）をつくる事から　はじめる事でんな」

「働いてくれる人があるから　会社が立ちゆく　職場があるから　働かせてもらえる
お互いに　こんな考え方をしたら　円満にいけるんとちがいまっか」